# 託北だより「あすなろ」No.69

「和」～敬・愛・信～

令和７年１２月９日（火）
熊本市立託麻北小学校
文責：小倉　秀俊

HP コード

## 「たから箱」

「北っ子フェスタ」が終わり、また一段と寒さが厳しくなりました。１２月６日（土）には、今年初めて０℃を下回りました。インフルエンザもまだまだ注意が必要です。

さて、熊本日日新聞から、「たから箱」掲載についてのお知らせが届きました。「たから箱」は、熊日朝刊の第１面の左下に掲載されている子どもたちの四行詩コーナーです。託麻北小でも、子どもたちが作った詩から２０作品を選び掲載していただくことになりました。１２月１２日（金）の朝刊から掲載される予定です。どうぞご覧ください。

## 「跳び箱」

「箱」続きの話題になりますが、１２月８日（月）に、５年生で体育の授業研究会を行いました。子どもたちは、跳び箱を使った伸膝台上前転（膝を伸ばしたままの跳び箱上での前転）に取り組みました。なかなか高度な技でしたが、子どもたちは、担任が準備した複数のコーナーで自分に合った練習に取り組みました。子どもたちは、自分たちで試行錯誤しながら技の習得に努め、少しずつ上達する様子がうかがえました。様々な練習場所の設定により、子どもたちの意欲につながったようです。先日いただいた跳び箱も活用させていただきました。

## コーヒーブレイク

「無償の思いやり」

今、「Pay It Forward」という本を読んでいます。自分が誰かから受けた親切を、次は別の複数の人に与え、それが無限に広がっていけば世界中が平和になるという話です。夢のような話ですが、主人公は、困難にぶつかりながらも、挫折を乗り越え、賛同者を増やしていきます。先日、６年生の学級通信を見ていましたら、次のような日記が紹介されていました。「理科の時間に、〇〇君が、私が休んでいた日のノートを書き写させてくれました。〇〇君は自分から、『僕のノートを見せるよ。』と言って見せてくれました。私が休んだ時はいつもノートを見せてくれて、優しいと思いました。」お返しに相手に何かをしてほしいわけではありません。純粋に相手のことを思いやる気持ち、素晴らしいと思いました。生きていくためには「契約」も必要ですが、真の豊かさを得るには、見返りを求めない無償の思いやりも大切だと感じました。